

令和 6 年度 事業報告書

社会福祉法人

柴田町社会福祉協議会

目 次

●事業報告

1. 法人運営

- (1) 理 事 会 1
- (2) 監 事 会 3
- (3) 評議員会 3
- (4) 評議員選任・解任委員会..... 4
- (5) 職員研修状況 5

2. 調査研究

- (1) 柴田町社会福祉協議会第4次地域福祉活動推進計画の実施 7

3. 事業の広報・啓発

- (1) 社協だより等の発行 8
- (2) 広報・啓発 8
- (3) 福祉まつり 2024 の開催 8

4. 連絡調整事業

- (1) 支部の育成、支部長会議の開催 9
- (2) 地域支え合い研修会 10
- 福祉推進委員説明会 10
- 令和6年度支部及び福祉推進委員の設置状況 10
- (3) 自主財源の確保 11
- 令和6年度の社協会員加入状況表..... 12

5. ふれあい福祉センター事業

- (1) 福祉サービスに関する苦情解決体制の整備 13
- (2) ふれあい福祉センター（生活相談所）の運営 13
- (3) 生活困窮者支援事業 フードバンク、フードパントリー 14

6. 地域生活支援事業

- (1) 小地域福祉活動の推進
 - ① 柴田町アクティビティサービス「いこいの日」促進事業 14
 - ② 柴田町アクティビティサービス「いこいの日」促進協議会研修会 14
 - ③ 社協支部の実施内容(世代間交流事業も含む) 15
- (2) 高齢者福祉の推進
 - ① 第40回ふれあい交流会（ひとり暮らし高齢者）の開催 19
 - ② 第11回ひと足早いクリスマスコンサート（ひとり暮らし高齢者）の開催 19

(3) 子育て支援事業の推進	
① 子育てサロン「きらら」の開催	19
② 「親子でリズム遊びをしよう！」の開催	20
(4) 共生型交流サロン「みんなの居場所」	21
① 地域交流サロン「カフェテラスつどい」の開催	20
② 地域福祉センター・サロンコンサートの開催	20
③ 「産直市場」の開催	20
④ みんなで楽しむワンターランドの開催	21
⑤ 共生サロン事業 コミュニケーション麻雀「雀のお宿」の開催	21
(5) 社協こども特別食堂	
① 社協こども特別食堂参加人数	21
② 社協こども食堂登録ボランティア養成研修会の開催	22
(6) 住民参加型の生活支援サービスの推進	
① ふれあいネットワーク互助事業	22
② 運営委員・協力会員及び研修等内容	22
③ 協力会員の活動状況	22
(7) 福祉機器貸与事業	23
① 福祉機器等の貸与	23

7. ボランティアセンター活動事業

(1) ボランティア活動の推進（ボランティアセンター機能を含む）	23
① 福祉防災啓発活動	23
② 災害ボランティアセンター「大規模災害時に備える研修会」	24
③ 被災者支援事業「交流サロンさくら」の開催	24
④ ボランティア養成講座の開催	24
⑤ ボランティア保険の加入状況	25
(2) 福祉教育推進	25
① 防災福祉体験学習への協力	25
② 夏ボランティア体験学習（小学生対象）	26

8. 共同募金配分事業

(1) 歳末たすけあい募金配分事業	27
-------------------	----

9. 資金貸付事業

(1) 生活安定資金の貸付	28
(2) 生活保護つなぎ資金の貸付	28

10. 福祉団体支援事業

11. 基金運営事業

(1) 基金等の管理運営	29
(2) 善意銀行の運営	29

善意銀行運営状況

① 金銭受入明細	29
② 金銭払出明細	29
③ 物品寄付明細	30

12. 受託事業

(1) 生活福祉資金貸付制度(県社協からの事務委託)	30
(2) 日常生活自立支援事業(まもりーぶ事業)	31
(3) 柴田町自立者支援通所事業「春風」	31
(4) 槻木ケアステーション運営事業	32
①生活援助員(LSA)活動状況	32
②ケア付住宅入居者介助状況	32
(5) 柴田町高齢者サークル活動支援事業	32
(6) 柴田町地域包括支援センター事業	32
(7) 柴田町社会福祉協議会訪問調査センター	34
(8) 柴田町生活支援体制整備事業(生活支援コーディネーター配置)	34

13. 指定管理事業

(1) 柴田町地域福祉センター指定管理事業	35
(2) 柴田町地域活動支援センターもみのき・しらさぎ指定管理事業	36

14. 福祉団体等事務局業務

(1) 柴田町民生委員児童委員協議会	37
(2) 柴田町ボランティア・NPO活動連絡会	37
(3) 柴田町身体障害者福祉協会	38
(4) 柴田町遺族会	38
(5) 福祉劇団「鶴亀」	39
(6) 柴田町老人クラブ連合会	39
(7) 柴田町共同募金委員会	39
(8) 柴田町内福祉施設等連絡協議会	40

1. 法人運営

法人を運営するため、法人の業務の決定を行う「理事会」と、法人の重要な事項について決議をする「評議員会」を開催した。

また、「監事会」を開催し、法人の財産の状況を監査すると同時に、監事が理事会に出席し、理事の業務執行状況を確認した。

その他、評議員の選任を行う「評議員選任・解任委員会」を開催した。

(1)理事会(5回開催)

開催年月日	出欠者	議案と審議の経過
R6. 5. 22	出席 11 名 欠席 2 名	次の議案は、原案のとおり承認された。 第 1 号議案 令和 5 年度 事業報告について 第 2 号議案 令和 5 年度 収支決算並びに監査報告の承認について 第 3 号議案 令和 6 年度 第 1 次補正予算について 第 4 号議案 評議員候補者の選任委員会への推薦について（定款第 7 条第 4 項） 第 5 号議案 定時評議員会の開催について（定款第 1 4 条） 次の内容について報告がなされた。 1）会長及び常務理事の職務の執行状況について 2）社会福祉法人 柴田町社会福祉協議会 職員就業規程の一部改正について
R6. 6. 19	出席 11 名 欠席 2 名	次の議案は、原案のとおり承認された。 第 1 号議案 常務理事の選定について（定款第 1 9 条第 2 項） 第 2 号議案 柴田町社会福祉協議会部会構成について （1）部会部員の指名について（部会規程第 2 条第 2 項） （2）部会長の互選について（部会規程第 2 条第 3 項） （3）職務代理者の指名について（部会規程第 5 条第 3 項） 第 3 号議案 柴田町社会福祉協議会委員会構成について （1）委員会委員の指名について（委員会規程第 2 条第 2 項） （2）委員長長の互選について（委員会規程第 2 条第 3 項） （3）職務代理者の指名について（委員会規程第 5 条第 2 項）

R6. 8. 22	出席 11 名 欠席 2 名	次の議案は、原案のとおり承認された。 第 1 号議案 令和 6 年度 第 2 次補正予算について 第 2 号議案 評議員候補者の選任委員会への推薦について 第 3 号議案 評議員会の開催について 次の内容について報告がなされた。 1) 社協事業報告（令和 6 年 4 月～8 月）と今後の事業予定（令和 6 年 8 月～11 月）について 2) 会長及び常務理事の職務の執行状況について 3) その他
R6. 12. 2	出席 9 名 欠席 4 名	次の議案は、原案のとおり承認された。 第 1 号議案 令和 6 年度 第 3 次補正予算について 第 2 号議案 評議員会の開催について 次の内容について報告がなされた。 1) 社協事業報告（令和 6 年 9 月～11 月）と今後の事業予定（令和 6 年 12 月～令和 7 年 3 月）について 2) 地区共生会議の開催について 3) 会長及び常務理事の職務の執行状況について 4) 臨時職員の通勤手当について 5) 令和 6 年度 各種表彰受賞者について
R7. 3. 10	出席 11 名 欠席 2 名	次の議案は、原案のとおり承認された。 第 1 号議案 柴田町社会福祉協議会 福祉サービスに関する苦情解決 第三者委員の選任について 第 2 号議案 令和 6 年度 第 4 次補正予算について 第 3 号議案 令和 7 年度 事業計画について 第 4 号議案 令和 7 年度 当初予算について 第 5 号議案 評議員会の開催について 次の内容について報告がなされた。

		1) 社協事業報告（令和6年12月～令和7年3月）について 2) 会長及び常務理事の職務の執行状況について 3) 職員給与の改正について 4) その他
--	--	--

(2)監事会(1回開催)

開催年月日	出席者	議案と審議の経過
R6.5.13	監事3名 公認会計士	1. 令和5年度経理について監査の専門家(公認会計士)による外部指導監査を実施 2. 令和5年度事業並びに収支決算について監査を実施 全体として事業内容は充実しており、今後も質の高い事業展開をお願いしたい旨の総評があった。経理も専門家の指導のもとに正確に行われ、諸帳簿、伝票等の整理も適正であった旨の総評があった。
R6.5.22	監事2名	令和6年度開催の理事会に出席。令和5年度収支決算について監査報告を行った。
R6.6.12	監事1名	令和6年度開催の評議員会に出席。令和5年度収支決算について監査報告を行った。
R6.6.19	監事1名	令和6年度開催の理事会に出席し、理事会の業務執行状況について監査を行った。
R6.8.22	監事3名	
R6.12.2	監事1名	
R7.3.10	監事2名	

(3)評議員会(4回開催)

開催年月日	出欠者	議案と審議の経過
R6.6.12	出席17名 欠席6名	次の議案は、原案のとおり承認された。 第1号議案 令和5年度 事業報告について 第2号議案 令和5年度 収支決算並びに監査報告の承認について 第3号議案 令和6年度 第1次補正予算について 第4号議案 役員（理事及び監事）の選任について
R6.9.2	出席20名 欠席3名	次の議案は、原案のとおり承認された。 第1号議案 令和6年度 第2次補正予算について 次の内容について報告がなされた。 1) 社協事業報告（令和6年4月～8月）と今後の事業予定（令和7年8月～11月）について 2) その他

R6.12.11	出席 19 名 欠席 4 名	次の議案は、原案のとおり承認された。 第 1 号議案 令和 6 年度 第 3 次補正予算について 次の内容について報告がなされた。 1) 社協事業報告（令和 6 年 9 月～11 月）と今後の事業予定（令和 6 年 12 月～令和 7 年 3 月）について 2) 地区共生会議の開催について 3) 臨時職員の通勤手当について 4) 令和 6 年度 各種表彰受賞者について
R7.3.19	出席 16 名 欠席 7 名	次の議案は、原案のとおり承認された。 第 1 号議案 令和 6 年度 第 4 次補正予算について 第 2 号議案 令和 7 年度 事業計画について 第 3 号議案 令和 7 年度 当初予算について 次の内容について報告がなされた。 1) 社協事業報告（令和 6 年 12 月～令和 7 年 3 月）について 2) 柴田町社会福祉協議会 福祉サービスに関する苦情解決 第三者委員について 3) 職員給与の改正について 4) その他

（４）評議員選任・解任委員会（２回開催）

開催年月日	出欠者	議案と審議の経過
R6.6.24	出席 3 名	次の議案は、原案のとおり承認された。 1) 評議員候補者の推薦について （任期：令和 6 年 6 月 24 日から令和 6 年度に関する定時評議員会終結の時まで）
R6.11.28	出席 3 名	次の議案は、原案のとおり承認された。 1) 評議員候補者の推薦について （任期：令和 6 年 11 月 28 日から令和 6 年度に関する定時評議員会終結の時まで）

(5) 職員研修状況

1) 県社協等主催の研修会・会議に参加し、業務に必要な知識の習得や職員のスキルアップを図るための研修充実に努めた。

月日	研修内容	参加人数
R6. 4. 24	令和6年度 宮城県ボランティア活動総合補償制度事務説明会	職員 1 名
R6. 5. 14	令和 6 年度 県南地域社会福祉協議会連絡会総会について	職員 1 名
R6. 5. 24	令和 6 年度 包括的支援体制・重層的支援体制整備セミナー	職員 1 名
R6. 5. 29	令和 6 年度 第 1 回柴田町育児サークル代表者会議	職員 1 名
R6. 6. 27	令和6年度 日本年金機構 算定基礎届事務講習会	職員 1 名
R6. 6. 27	令和6年度 第1回柴田町地域ケア個別会議	職員 1 名
R6. 7. 5	食品衛生責任者講習会	職員 2 名
R6. 7. 9	令和6年度 市町村社会福祉協議会 生活福祉資金担当者会議	職員 2 名
R6. 7. 22	令和6年度高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業	職員 3 名
R6. 7. 23	令和6年度 安全運転管理者講習	職員 1 名
R6. 7. 23	住民参加型在宅福祉サービス 2024 年度第 3 回正副代表幹事会	職員 1 名
R6. 7. 30	2024 年度こ～ぷくらしの助け合いの会交流会	職員 1 名
R6. 7. 31	日常生活自立支援事業担当者研修	職員 1 名
R6. 8. 1	令和6年度 市町村社会福祉協議会 会長・事務局長会議	職員 2 名
R6. 8. 2	令和6年度 第1回柴田町住民自治によるまちづくり基本条例審議会	職員 1 名
R6. 8. 7～8. 8	社会福祉施設新任職員研修	職員 1 名
R6. 8. 27	令和6年度 安全運転管理者講習	職員 1 名
R6. 9. 3～4	令和 6 年度コミュニティソーシャルワーク実践研修会	職員 2 名
R6. 9. 20	令和 6 年度 宮城県障がい者福祉協会 市町村会議	職員 1 名
R6. 9. 30	令和6年度 生活支援体制整備事業市町村事例発表会	職員 1 名
R6. 10. 17	令和6年度 市町村社会福祉協議会 生活福祉資金担当者会議	職員 2 名
R6. 10. 22	令和6年度 市町村・市町村社協地域福祉担当者会議	職員 2 名
R6. 10. 30	宮城県地域支え合い・生活支援推進連絡会市町村情報交換会	職員 3 名
R6. 11. 11	令和6年度 地域居住支援勉強会	職員 1 名
R6. 11. 15	令和6年度 介護支援専門員更新研修	職員 1 名
R6. 11. 28	令和6年度 宮城県市町村社会福祉協議会連絡会圏域会議(県南圏域)	職員 1 名
R6. 11. 28	令和6年度 子育てボランティア研修Ⅰ	職員 1 名

R6. 11. 29	令和 6 年度みやぎ地域福祉サポートセンター生活支援員研修会	職員 1 名
R6. 12. 5	子育てボランティア研修Ⅱ	職員 1 名
R6. 12. 10～ 11	令和 6 年度コミュニティソーシャルワークステップアップ研修	職員 2 名
R6. 12. 11	令和6年度日常生活自立支援事業関連事務担当者会議	職員 1 名
R6. 12. 17	令和6年度 介護認定調査員現認研修	職員 1 名
R6. 12. 23	令和6年度 地域福祉・ボランティア会議	職員 1 名
R6. 12. 23	令和6年度 東北農政局 農村 RMO 推進フォーラム	職員 2 名
R6. 12. 23	令和6年度第3回子ども子育て会議	職員 1 名
R6. 12. 24	令和6年度 第2回 宮城県地域共生社会推進会議	職員 2 名
R6. 12. 26	令和 6 年度 ソーシャルワーク実習精神保健福祉士援助実習事後指導	職員 1 名
R7. 1. 14	住民参加型在宅福祉サービス団体全国連絡会 2024 年度第 5 回正副代表幹事会	職員 1 名
R7. 1. 17	令和6年度日常生活自立支援事業市町村社会福祉協議会担当者会議	職員 2 名
R7. 2. 6	令和6年度第2回市町村共同募金委員会担当者ミーティング	職員 2 名
R7. 1. 28	令和6年度宮城県市町村社会福祉協議会事務局長会議	職員 1 名
R7. 2. 12	令和6年度仙南地区社会福祉協議会連絡会事務局長会議・担当者会議及び職員研修会	職員 2 名
R7. 2. 27	令和6年度市町村生活支援体制整備事業伴走型事業等事例報告会	職員 1 名
R7. 3. 12	令和 7 年度 宮城県ボランティア活動総合補償制度及び地域福祉総合補償制度に係る事務説明会	職員 1 名
R7. 3. 14	令和6年度第4回柴田町子ども子育て会議	職員 1 名
R7. 3. 25	令和6年度第3回住民自治によるまちづくり基本条例審議会	職員 1 名

2. 調査研究

柴田町社会福祉協議会 第4次地域福祉活動推進計画の地区共生会議を開催し、それぞれの地区で抱えている福祉課題に対する協議を行い、福祉の取り組みについて検討を行った。

(1) 柴田町社会福祉協議会 第4次地域福祉活動推進計画 地区共生会議の開催

第4次地域福祉活動推進計画（令和6年度～10年度）を推進するために、中学校区を単位とした地区共生会議（4地区）を開催し、地区の福祉課題について検討を行った。

○計画推進：令和6年度（1年目）

月	日	項 目	内 容
4			
5			
6	6	・職員向け研修会①	・地区住民福祉計画を推進するためにどうするか？
7			
8		・各地区共生会議の委員調整	・各地区共生会議の委員調整
9			
10	15	・職員向け研修会②	・共生会議に向けて (地区担当者が実施する業務)
11	5	・地区共生会議①の開催 (槻木地区 19 区～27 区)	・委員の顔合わせ・自己紹介 ・地区共生会議について ・地域課題の確認、地域目標の確認・設定について
	11	・地区共生会議①の開催 (船迫地区)	
	18	・地区共生会議①の開催 (槻木地区 13 区～18B 区)	
	28	・地区共生会議①の開催 (船岡地区)	
12			
1			
2	19	・地区共生会議②の開催 (槻木地区 19 区～27 区)	・地域目標の確認と具体的な取り組みについての話し合い
	28	・地区共生会議②の開催 (槻木地区 13 区～18B 区)	
3	4	・地区共生会議②の開催 (船迫地区)	
		・地区共生会議②の開催 (船岡地区)	

3. 事業の広報・啓発

町民の福祉に関する意識の高揚と社協に係る理解の促進のため、広報紙「社協だより」の発行ならびにホームページにより、社協事業の紹介と幅広い福祉情報を提供し、「地域福祉・社協活動」について理解を図ると共に、社会福祉への普及・啓発を行なった。

(1) 社協だより等の発行

福祉に対する理解と福祉活動への参加意識の高揚を図るため、広報活動として「社協だより」を発行(年5回:6月、8月、10月、1月、3月)し、全戸に配布しました。社協活動や取り組み及び福祉情報の提供、事業紹介に努めた。

(2) 広報・啓発

社会福祉協議会事業の広報・啓発に参考となる資料として、事業の経過記録、整理及びホームページを更新し、社協事業のPR及び情報公開を行った。

町広報おしらせ版(毎月1日号)「社協からのお知らせ」コーナー定期掲載。

(3) 福祉まつり2024開催

柴田町地域福祉センターを会場に開催された福祉まつりは、テーマである「ともに生きる豊かな地域社会」の実現に向けて、福祉でまちづくりを推進することを目的に開催した。秋晴れのもと6団体のステージ発表をはじめ、各催しコーナーに商店、企業、施設、学校、団体等300人から御協力をいただいた。総参加数800人となり盛会裡に行われた。

開催年月日	参加者	内 容
10月5日(土)	参加総数 800 人	会場: 柴田町地域福祉センター(屋内、屋外)
		○オープニング・セレモニー(よさこい演舞) ○ザ・ドリームステージ(コーラス、ダンス、バトン) ○スペシャルコンサート(サックス演奏) ○赤い羽根チャリティバザー ○駄菓子屋 ○オレンジカフェ ○地域おこしワークショップ ○コミュニティカフェ ○キッズワールド ○模擬店(即売・移動販売車・キッチンカー) ○フリーマーケット

4. 連絡調整事業

社協支部と連携し、身近な地域において、住民相互の支えあい活動を促進し、地域において支援を必要とする人々に対して、小地域福祉活動を展開し地域福祉の推進を図った。

(1) 支部の育成

地域福祉活動の充実を図るため、社協と支部との連携を強め社協事業への理解を深めるため、支部長会議を開催した。

また、社協支部への地域福祉活動推進事業補助金の交付を行い、支部の活動促進を図った。

支部長会議の開催状況

開催年月日	出席者	議案と審議の経過
R6. 4. 30	支部長 4 3 名	社協支部長会議を次のとおり実施した。 会議内容 1) 社協における支部長との連携・協力について 2) 令和 6 年度 社協事業計画について 3) 第 4 次地域福祉活動推進計画 地区住民福祉計画への協力について 4) 令和 6 年度 事業費補助金等交付申請手続きについて
R6. 6. 17	支部長 4 1 名	社協支部長会議を次のとおり実施した。 会議内容 1) 令和 5 年度 社協会員加入状況について 2) 令和 6 年度 社協会員加入促進について
R6. 9. 17	支部長 4 1 名	社協支部長会議並びに赤い羽根共同募金運動推進会議を、次のとおり実施した。 また、会議のあとに研修会を開催した。 ●会議 【柴田町社会福祉協議会】 1) 令和 6 年度 社協会員加入推進状況について 【柴田町共同募金委員会】 1) 令和 6 年度 赤い羽根共同募金運動協力依頼について 2) 令和 6 年度 赤い羽根共同募金運動の推進について 3) 資材について 4) その他 ●研修会 講 話 「自分たちの地域をより良くするために」 講 師 特定非営利活動法人 全国コミュニティライフサポートセンター 理事長 池田 昌弘 氏

(2)地域支え合い推進研修会

開催月日	開催場所	参加者（参加人員）
7月29日(水)	柴田町地域福祉センター	福祉推進委員、支部長、民生児童委員 (130名)
講演 演題 「新たな地域福祉活動推進の方法」 ～「安心」できる新・コミュニティ～ 講師 東北福祉大学 総合福祉学部 教授 都築 光一 氏 内容 今後、後期高齢者の増加に伴い要介護者も増えていきます。これからは、サービスが必要になっても地域活動に参加できるような活動内容が求められることを学びました。		

社会福祉協議会の事業内容を理解してもらい、会員会費の増収につなげるため、福祉推進委員説明会を開催した。

●福祉推進委員説明会

開催月日	開催時間	開催(支部)場所	参加者(参加人数)
6月29日(土)	午前10時から 午前11時まで	船迫生涯学習センター	29C区班長会議(40名)
7月6日(土)	午前10時から 午前11時まで	29A区集会所	29A区役員及び福祉推進委員 (40名)
7月6日(土)	午後7時から 午後7時30分まで	17B区集会所	17B区班長会議(35名)

令和6年度 支部及び福祉推進委員の状況

行政区	推進委員数	備考	行政区	推進委員数	備考
1	7		13	20	☆
2	6		14	15	
3	16		15	13	
4	30	☆	16	17	
5	13		17A	7	
6A	5		17B	36	☆
6B	1		18A	29	☆
7A	5		18B	14	☆
7B	14		19	7	
8	8		20	8	

9 A	6		2 1	8	☆
9 B	11	☆	2 2	6	☆
1 0	23		2 3	5	
1 1 A	20	☆	2 4	6	
1 1 B	29		2 5	5	☆
1 1 C	41	☆	2 6	12	☆
1 1 D	11		2 7	6	
1 2 A	16		2 8	13	
1 2 B	18	☆			
2 9 A	34	☆			
2 9 B	25				
2 9 C	42	☆			
2 9 D	41	☆			
3 0	30	☆	合 計	679	17

(注) ☆印は、行政区の班長が担当

(3)自主財源の確保

社協の地域福祉事業を展開していくための貴重な財源となる社協会費について、町内各社協支部を単位として会員の加入を推進し、社協財源基盤の安定化を図った。

また、町内の企業廻りを実施し、企業へ社協事業について説明を行い、地域福祉への理解を深めるとともに、企業会員の加入推進に努めた。さらに、各事業等でも積極的に社会福祉協議会のPRに努めた。令和6年度は、会員数、会費金額とも前年度実績を下回ったが、町内各世帯や企業から社協会費への多大なるご協力を頂いた。

※令和6年度の社協会員加入状況については、次頁参照。

※（令和6年度の社協会員加入状況表）

5. ふれあい福祉センター事業

生活上の心配ごと、悩みごと等に対する相談に応じるとともに、相談ニーズに対応し、助言、指導、他相談機関への紹介等を行うことで、適切な解決に導いた。

(1) 福祉サービスに関する苦情解決体制の整備

社会福祉法第82条(社会福祉事業の経営者による苦情の解決)の規定に基づき、柴田町社会福祉協議会の福祉サービス提供に伴う利用者等からの苦情への適切な解決体制に努めた。

(2) ふれあい福祉センター(生活相談所)の運営

生活相談員を4名配置し、毎週火曜日午前9時から正午まで生活相談所を開設した。

相談取扱件数及び処理状況(令和6年度)

	相 談 事 項	相談件数	処 理 状 況			
			解 決	民生委員	他機関	その他
1	生 計	3	0	0	3	0
2	年 金	0	0	0	0	0
3	職 業・生 業	1	0	1	0	0
4	住 宅	3	0	0	1	2
5	家 族	3	1	0	2	0
6	結 婚	0	0	0	0	0
7	離 婚	0	0	0	0	0
8	健 康・保 健	1	1	0	0	0
9	医 療	0	0	0	0	0
10	精 神・衛 生	0	0	0	0	0
11	人 権・法 律	0	0	0	0	0
12	財 産	0	0	0	0	0
13	事 故	0	0	0	0	0
14	児童福祉・母子保健	0	0	0	0	0
15	教 育	0	0	0	0	0
16	障害(児)者福祉	0	0	0	0	0
17	母子福祉・父子福祉	0	0	0	0	0
18	老 人 福 祉	0	0	0	0	0
19	苦 情	0	0	0	0	0
20	そ の 他	0	0	0	0	0
合 計 件 数		11	2	1	6	2

(3) 生活困窮者支援 フードバンク、フードパントリー

町民、企業、行政、団体などから食料等の寄付を受取り、生活困窮世帯やひとり親世帯に対して食料支援を行った。

・食料等受け入れ件数 町民…15件、企業…10件、行政…2件 計 27件

・食料支援件数 生活困窮による個別申請・・・・・・・・・・55件
 夏季休業に伴う子育て世帯への食料支援 15件
 団体・施設・ボランティア・・・・・・・・・・4件
 包括対応案件・・・・・・・・・・8件
 歳末たすけあい運動に併せた食料支援・・63件
 春季休業に伴う子育て世帯への食料支援・12件
 計 157件

6. 地域生活支援事業

地域で安心して暮らしていくことを支える活動や小地域における福祉課題を住民主体で、お互いに支え合っていく福祉活動がさらに推進されるよう研修会等の取り組みを行った。

(1) 小地域福祉活動の推進

①柴田町アクティビティサービス「いこいの日」促進事業

地域による違いはあるものの、5年程度で地域の状況は大きく変化します。2025年～2030年には、いわゆる団塊世代がすべて75歳～80歳以上になることを考慮すると、地域の人口構成なども大きく変化人口構成なども大きく変化することが予想されます。それらの変化を見つめつつ、「地域づくり」を推進していくための研修会の取り組みを行った。

②柴田町アクティビティサービス「いこいの日」促進事業研修会

開催年月日	参加者	実施内容
R6. 4. 25	社協支部いこいの日 ボランティア 80 名	第1回「いこいの日」促進事業研修会 講話・実技指導 テーマ「新聞を活用した脳トレ・レクリエーション」 講師 河北新報社 船岡販売所 岡部 節雄 氏 研修では、高齢者の介護予防につながる新聞を活用した脳トレ、レクリエーションを楽しく体験できた。
R6. 6. 27	社協支部いこいの日 ボランティア 130 名	第2回「いこいの日」促進事業研修会 講演 演題「笑顔あふれるわが柴田町に！」 講師 Narita マルシェ 代表 増田恵美子 氏 研修では、活動を継続するためのポイントやヒントを学んだ。

R6. 9. 30	社協支部いこいの日 ボランティア 90 名	第 3 回「いこいの日」促進事業研修会 講演 演題「地域共生社会」のの実現が求められる背景 ～つながりの再構築を目指して～ 講師 全国コミュニティライフサポートセンター 理事長 池田 昌弘 研修では、通いの場を中心にお互いに気かけ合うことを意識しながら地域づくりを進めていくことが大切であることを学んだ。
-----------	--------------------------	---

③「いこいの日」実施地区の実施内容(世代間交流事業を含む)

社協支部等	名称	内容・参加者	実施回数
第1区	いこいの日	ゲーム、工作、出前講座など	年 9回
		参加者延べ106人 従事者 50人	
第2区	さわやかいこいの日	講話、懇談会など	年 2回
		参加者延べ35人 従事者 0人	
第3区	さくらの日	誕生祝、脳トレ、軽運動、ゲームなど	年 5回
		参加者延べ193人 従事者 0人	
第4区	ふれあいの日	レクリエーション、町内めぐり、お楽しみ会	年 4回
		参加者延べ91人 従事者 41人	
		世代間交流型1：ボーリング大会 参加者 親子15人	年 1回
		世代間交流型2：スポーツレクリエーション 参加者 親子25人、高齢者35人	年 1回
第5区	みどりの日	移動研修会、出前講座、ゲームなど	年 4回
		参加者延べ145人 従事者 17人	
		世代間交流型2：親子レクリエーション 参加者 親子25人、高齢者40人、	年 1回
第6A区	いこいの日	軽運動、シルバー川柳、歌など	年 3回
		参加者延べ114人 従事者 30人	
		脳トレ、軽運動、ゲームなど	

第 6 B 区	いこいの日	参加者延べ 4 1 人 従事者 6 人	年 3 回
第 7 A 区	いこいの日	早口ことば、すごろくゲーム、頭の体操など 参加者延 8 2 人 従事者 4 人	年 4 回
第 7 B 区	いこいの日	フレイル予防、余興など 参加者延 1 0 1 人 従事者 1 2 人	年 3 回
第 8 区	きてけさい	ひな祭り、クリスマス会、健康教室 参加者延 9 3 人 従事者 1 5 人	年 3 回
第 9 A 区	どてっこ憩いの日	健康教室、クリスマスコンサート、バスハイク 参加者延べ 2 0 3 人 従事者 1 0 人	年 5 回
		世代間交流型 2: 読み聞かせとランチ 参加者 親子 2 5 人 高齢者 2 5 人	年 1 回
第 9 B 区	なかよし憩いの日	体操、移動バス旅行、中高齢者歩き方セミナーなど 参加者延べ 8 2 人 従事者 1 5 人	年 3 回
		世代間交流型 2: ボーリング大会 参加者 親子 2 0 人 高齢者 3 0 人	年 1 回
第 1 0 区	ハッピー 1 0 区	全員声出し、ロコモ体操、移動研修、七夕作りなど 参加者延べ 1 5 7 人 従事者 1 0 1 人	年 1 0 回
		世代間交流型 1: 餅つき大会 参加者 親子 5 0 人	年 1 回
第 1 1 A 区	まざらん会	健康体操、ゲーム、映画、紙芝居など 参加者延べ 6 8 人 従事者 3 8 人	年 4 回
		世代間交流型 2: 夏祭り大会 参加者 親子 3 0 人 高齢者 2 0 人	年 1 回
第 1 1 B 区	いこいの日	出前講座、健康講話、ミニ運動など 参加者延べ 3 8 人 従事者 3 7 人	年 2 回
第 1 1 C 区	いこいの日	新緑を楽しむ、七夕会、ひな祭り会など 参加者延べ 9 6 人 人従事者 3 8 人	年 4 回

第 1 1 D 区	いこいの日	バス旅行、出前講座、皆でケーキ作り	年 3 回
		参加者延べ 0 人 人従事者 1 0 0 人	
		世代間交流型 2: ビンゴゲーム大会 参加者 親子 2 0 人 高齢者 2 0 人	年 1 回
第 1 2 A 区	中名生親交会	健康講話、ゲーム、レクリエーションなど	年 1 1 回
		参加者延べ 1 9 3 人 従事者 3 8 人	
第 1 2 B 区	検水集会所	ゲーム、観覧、出前講座、体操など	年 4 回
		参加者延べ 3 9 人 従事者 3 0 人	
第 1 3 区	しあわせの日	七夕飾り、ゲーム、クリスマスコンサートなど	年 5 回
		参加者延べ 7 8 人 従事者 6 8 人	
第 1 4 区	ほほえみの会	ビンゴゲーム、合唱、講話	年 3 回
		加者延べ 8 0 人 従事者 3 2 人	
第 1 5 区	やすらぎの会	クリスマス会、ひな祭り会、移動ランチ	年 4 回
		参加者延べ 7 3 人 従事者 6 1 人	
第 1 6 区	いきいきサロン	講話、出前講座、クリスマス会	年 3 回
		参加者延べ 7 5 人 従事者 6 0 人	
		世代間交流型 2: ボーリング大会 参加者 親子 1 5 人 親子 3 5 人	年 1 回
第 1 7 A 区	ふれあいの会	健康体操、脳トレ、ゲーム、クリスマス会など	年 6 回
		参加者延べ 1 3 7 人 従事者 7 9 人	
第 1 7 B 区	宝 寿 会	軽運動、ゲームなど	年 3 回
		参加者延べ 9 0 人 従事者 2 8 人	
第 1 8 A 区	いこいの日	健康講話、軽運動など	年 4 回
		参加者延べ 1 2 0 人 従事者 3 4 人	
第 1 8 B 区	げんき会	お花見、文化祭、七夕、お楽しみ会など	年 9 回
		参加者延べ 1 2 6 人 従事者 1 5 2 人	
第 1 9 区	いこいの日	情報提供、安否確認など	年 1 回
		参加者延べ 3 0 人	

		従事者 7人	
第21区	ふれあいサロン	健康講話、ゲーム、社会見学など	年 4回
		参加者延べ 67人	
		従事者 14人	
		世代間交流型2：ゲーム、マジック、ビンゴゲーム	年 1回
		参加者 高齢者30人 親子20人	
第24区	いこいの日	サロンコンサート見学、出前講座、ゲームなど	年 1回
		参加者延べ 28人	
		従事者 2人	
第27区	いこいの日	視察見学など	年 1回
		参加者延べ 98人	
		従事者 1人	
第28区	いこいの日	七夕まつり	年 3回
		参加者延べ 34人	
		従事者 0人	
第29A区	いきいきサークル	健康講話、演芸会、健康づくり講話	年11回
		参加者延べ 383人	
		従事者 174人	
第29B区	北船岡支部	ボッチャ、コミュニケーション麻雀、折り紙など	年24回
		参加者延べ 745人	
		従事者 83人	
第29B区	二本杉茶屋	体操、ゲーム、出前講座など	年24回
		参加者延べ306人	
		従事者 185人	
第29C区	ほのぼのサロン	移動研修、ゲーム大会、クリスマス会など	年 3回
		従事者 59人	
		参加者延べ50人	
第29D区	にこにこ会	フラワーアレンジ、ゲーム、脳トレなど	年18回
		参加者延べ236人	
		従事者 277人	
第30区	ふれあいの日	レクリエーションなど	年 2回
		参加者延べ59人	
		従事者 53人	

(2) 高齢者福祉の推進

①第40回ふれあい交流会（ひとり暮らし高齢者）の開催

75歳以上（介護保険サービス利用者対象外）のひとり暮らし高齢者を対象に、お互いの親睦を深めるとともに、楽しい一日を過ごすことを目的に開催した。

開催年月日	参加予定者	内 容
R6. 10. 30	参加者 88 名	町内に住む75歳以上のひとり暮らしの方々を対象に、みなさんが参加できるコンサートを開催し、お互いの親睦を深めるとともに楽しい1日を過ごすことを目的に開催。 (コンサート演奏：阿部 弘子 氏) (会場・柴田町地域福祉センター)

コンサートを通じて、日頃の孤独感の解消やお互いの親睦を深める目的で開催しました。民生委員と連携し、本会活動の「高齢者の引きこもり防止」や「災害時の要支援者の見守り」活動としても再確認を図ることが重要と考えられます。今後も、ひとり暮らし高齢者の増加が見込まれることから高齢者の支援事業として、民生児童委員と連携を密に進めていきます。

②第11回ひと足早いクリスマスコンサート（ひとり暮らし高齢者）の開催

町内に住む70歳以上75歳未満の（介護保険サービス利用者対象外）のひとり暮らし高齢者、70歳以上の日中ひとり暮らし高齢者を対象に、お互いの親睦を深めるとともに、心温まる時間を楽しんでいただくことを目的に開催した。

開催年月日	参加者	内 容
R6. 11. 26	参加者 45 名 職員・スタッフ 14 名	町内で音楽教室を主宰している 阿部 弘子先生をお迎えして開催しました。「2024宇宙からメリークリスマス」をコンセプトにしたコンサートで、宇宙や星に関する曲目演奏や楽器体験、宇宙や星座に関するお話を組み合わせたもので、宇宙に関係する衣装を身にまとった社協職員が踊りや芝居を演じました。会場は宇宙空間にいるような背景装飾の中で、参加者のみなさんが楽しい時間を過ごしました。 民生委員児童委員協議会の協力を得て、開催しました。

(3) 子育て支援事業

少子化や核家族が進む中で、子どもを生み、育てやすい社会をつくるために子育て機能の強化が必要とされている。家庭や地域における子育て機能が低下する中で、子育てについて悩みを共有し、支え合い理解し合える交流広場として、「子育てサロン」や「リズムあそび」を実施しました。子育て支援事業として定着し、社協事業理解の啓発にもつながっています。

① 子育てサロン「きらら」の開催

地域で子育て中の親子が気軽に集い、仲間づくりができる場をつくることを目的に、毎月第2・4金曜日（きらら／会場：柴田町地域福祉センター）年23回開催した。

「きらら」では、オカリナ演奏、大型絵本などのお楽しみ会を実施し、しばたおもちゃ病院を同時開催（偶数月）した。

「きらら」	延べ参加者数	(498名) 平均 21名 親 226名 子 272名
	延べボランティア数	(151名) 平均 6名

② 「親子でリズム遊びをしよう！」の開催

親と子の交流を目的とした、「親子でリズム遊びをしよう」をボランティアグループ杉の子福祉コーラスが、野町純子先生と伊澤美和子先生のご指導のもと7/26.10/22（2回）開催。軽やかな歌声を聞きながら親子一緒にリズムに乗って楽しい時間を過ごしました。「子育てサロン きらら」、槻木児童館「なかよし広場」との同時開催なので、気軽に参加しやすいイベントとなった。

（４）共生型交流サロン「みんなの居場所」等の開催

① 地域交流サロン「カフェテラスつどい」の開催

船迫地域にて、地域の社会資源の開放と昼間に社会的に支援を必要とする人々との交流を目的に、毎月第3月曜日に多機能型地域ケアホームふなおかを会場に開催。

令和6年度は、コロナ感染防止のため中止。

② 柴田町地域福祉センター・サロンコンサートの開催

福祉教育やボランティア活動等を通じて、活動の楽しさやボランティア活動のPR。

柴田町地域福祉センターが住民にとって、より身近に開かれた施設になるために、地域交流や町内に被災されている方々の交流の場「地域の居場所」として開催。

開催月日	参加者数	内 容
5月 8日（水）	54	昭和ポップス（BB4 & GG4）
6月11日（火）	59	トーンチャイム&大正琴 レインボースターズつきのき&大正琴つきのき
7月 5日（金）	46	伝統芸能（おほほ倶楽部）
8月 2日（金）	50	夏休み特集（柴田高等学校 吹奏楽部）
9月 4日（水）	50	ギター演奏（ル・レーブギターアンサンブル）
10月 8日（火）	68	杉の子福祉コーラス& オールド・ビアン・アンサンブル
11月12日（火）	55	カリンバ演奏【カリンバサークルBerry& フェルマータの会】
12月12日（木）	56	サックス演奏（マイケル秦 氏）

③ 「産直市場」の開催

地産地消の促進を図りながら、生産者と福祉団体との交流を促進することを目的に開催した。
令和5年7月から毎月第2金曜日柴田町地域福祉センターにて開催した。

協力団体は、農産物直売所みでがいん、斎藤園芸、ほっとファーム(株)ふなおか、旧産地直売所プチみちの駅 とみかみ有志の会、地域活動支援センター しらさぎ

④ 「みんなで楽しむワンダーランド」の開催

柴田町地域福祉センター会場に、家族のふれあいの大切さを感じるとともに、共生型交流サロンを通じて多世代交流と新たな繋がりを深めることを目的に開催した。

■実施月日：令和6年6月23日(日)参加者(親子12組/28名)

■内 容：前半/レクリエーション(宮城県レクリエーション協会 理事 田名網 典子 氏)
後半/音楽ランド「みんなでいろんな楽器に挑戦！」 阿部 弘子 氏

■協力団体：柴田町ボランティア NPO 活動連絡会

⑤ コミュニケーション麻雀「雀のお宿」

期 日：令和6年4月2日・5月7日・6月4日・7月2日・8月6日・9月3日・

10月1日・11月5日・12月3日・1月7日・2月4日・3月4日

毎月第1火曜日午前開催

協力団体：しばた健康麻雀の会

(5) 社協こども特別食堂

「子ども貧困対策」「子育て支援」「地域づくり」の3つを軸に、子どもを真ん中に置いた多世代交流の地域の拠点として「社協こども特別食堂」を実施した。

「こども食堂」と名はついていますが、対象者は限定しておらず幼児から学生、高齢者などだれでもどうぞの居場所として、人と人とのつながりを育む居場所づくりに取り組んでいる。

① 月1回第4金曜日(小中長期休業期間中は月2回)柴田町地域福祉センター内において会食形式で食事を提供。

令和6年度社協こども特別食堂参加人数

実施日	大人	小・中	未就学児	ボランティア等	計
7月23日	48	23	14	11	96
7月26日	38	31	17	14	100
8月9日	43	30	14	8	95
8月23日	30	14	14	15	64
9月27日	31	5	14	10	55
10月25日	40	0	11	10	61
11月22日	72	0	18	11	101
12月13日	77	0	13	16	106
1月24日	59	0	19	17	95
2月28日	93	0	14	16	123
3月28日	88	15	36	14	153
合 計	619	104	184	142	1,049

② 柴田町社会福祉協議会こども食堂登録ボランティア研修会の開催

開催日：R6. 4. 23(火) 第1回 講義「地域共生社会に向けた多世代交流拠点つながりづくり」

～Narita マルシェの実践活動を通じて～

開催日：R6. 5. 10(金) 第2回 実践指導・模擬こども食堂「実践活動で大切だと思うこと」

～子育てサロンとイノベーション～

講師：Narita マルシェ

代表 増田恵美子 氏

参加者：社協こども特別食堂登録ボランティア12名

(6) 住民参加型の生活支援サービスの推進

① ふれあいネットワーク互助事業

社協会員互助の支援活動として、住民参加型の在宅福祉サービスを展開し、利用者の在宅での生活を支える活動（移動支援、家事援助支援等）に取り組みました。広報誌等で事業の啓発の取り組みを行った。

② 協力会員研修等内容

開催年月日	参加者	会議及び研修内容
R6. 5. 21	協力会員 5 名	○「福祉車両操作方法について」 講師：柴田町社会福祉協議会

③ 協力会員の活動状況

住民のたすけあい事業として、ふれあい協力会員の協力のもと、移動制約者（障害のある方や介護認定の高齢者あるいは透析患者）への移動サービスとして、通院介助や施設への移動などセダン車や福祉車両でサービスを提供した。

また、家事援助として、買物などの支援を行うことにより本人または家族の負担軽減を図った。

近年は特に移動サービスの利用が増加傾向にあり、利用者については後期高齢者が増加している。

今後も利用会員の増加が見込まれるため、協力会員の増員が求められているが、新規ボランティアが集まらない状況にあり、対応が困難になってきているので対策を検討していく必要がある。

令和6年度会員数（実人数）

協力会員 14 名（移動サービス） 利用会員 44 名（移動サービス）

協力会員 2 名（家事援助） 利用会員 2 名（家事援助）

○移動サービス車両内訳

セダン車両（公用車）	セダン車両（私用車）	福祉車両（公用車）	福祉車両（私用車）
5 台	2 台	3 台	0 台

○活動（利用）の状況

家事援助	移動サービス	その他
回数	回数	回数
36	882	0

(7) 福祉機器貸与事業

地域住民(会員)に対しての在宅福祉として、福祉機器貸与事業を行い、要援護者とその家族の負担を軽減することを目的に次のサービスを提供した。

①福祉機器等の貸与

在宅介護者等を対象に介護用ベッドや車いす等の福祉機器の貸与や子育て支援用品等の貸し出しを行った。車椅子やチャイルドシートなどの貸与申請を希望する方が多く、短期利用も多かった。今後も利用の増加が見込まれるため、台数の充実を図ります。

令和6年度 福祉機器貸与状況

(1ヶ月以内の短期含む)

貸与品目	保有総数	令和6年度末の総貸与数	令和6年度貸与数
介護用ベッド	59台	36台	7台
車イス	134台	102台	81台
ベビーシート	8台	2台	0台
チャイルドシート	151台	113台	88台
ジュニアシート	32台	30台	19台
ベビーベッド	31台	25台	22台
ベビーバス	22台	15台	11台
ベビーカー	32台	23台	9台

7. ボランティアセンター活動事業

地域の連帯感や人間関係の希薄化が問題となっている中、多様なボランティア・市民活動の支援と住民参画の基盤づくりと時代求められるボランティア養成講座を図った。

(1) ボランティア活動の推進 (ボランティアセンター機能を含む)

地域ボランティアの活動促進を図るため、ボランティア養成講座を開催した。

また、ボランティア相談、情報の提供、ボランティア活動者のための傷害・賠償責任保険制度の加入促進等を行った。

①福祉防災啓発活動

災害ボランティア活動内容や現状について説明及び災害への備え等について、福祉体験等、参加対象者に応じた企画プログラムの出前講座を実施した。子供から高齢者まで幅広く福祉防災ワークショップを楽しみながら実施することができた。

(延べ11回430名)

No.	開催月日	曜日	依頼者	参加者	内容
1	6月8日	土	12B 行政区	30名	過去の災害を振り返って
2	6月15日	土	北船岡婦人防火クラブ	30名	災害への備えについて
3	7月21日	日	槻木上町婦人防火クラブ	30名	過去の災害を振り返って

4	8月4日	日	第12A行政区	30名	水害時系列カードワーク
5	8月17日	土	柴田小学校区子ども育成会	50名	段ボールベッド、アルファ米体験
6	9月25日	水	育児サークル ポップサークル	27名	防災ワークショップ（防災運動会）
7	10月19日	土	第11A行政区	80名	防災ワークショップ（防災クイズ）
8	11月9日	土	四日市場山根婦人防火クラブ	20名	災害時の食について
9	1月8日	水	船迫放課後児童クラブ	66名	防災ワークショップ（段ボールベッド等）
10	2月6日	木	育児サークル さくらんぼ	32名	防災ワークショップ（防災運動会）
11	2月24日	月	第11A行政区	35名	防災食づくり、段ボールベッド体験

②災害ボランティアセンター「大規模災害時に備える研修会」

研修会では、区長及び防災担当者、民生委員が集まり、災害発生時の住民の避難誘導等について学ぶことができた。

地域の実情と照らし合わせ、「災害にも強い地域」を目指すことを目的に開催した。

開催年月日	参加者	内 容
R6.9.4(水)	49名	○「災害発生時のそれぞれの役割について」 講師 Office SONOZAKI 代表 園崎 秀治 氏

③被災者支援事業「交流サロンさくら」の開催

東日本大震災後から14年が過ぎ、柴田町で生活している被災世帯も18世帯となっている。町内在住の被災者の方々を対象に、参加者同士の交流や情報交換を目的に「柴田町傾聴の会ほのぼの」の協力を得ながら開催した。

開催月日	対象者	協力者	開催月日	対象者	協力者
4月 8日	5	4	12月12日	4	4
5月 8日	4	4	1月20日	4	4
6月11日	4	3	2月10日	4	5
7月 5日	4	2	3月10日	3	5
8月 2日	4	3	3月26日	4	5
9月 4日	5	6			
10月 8日	4	2			
11月11日	3	2	合 計	52	49

④令和6年度ボランティア養成講座

イ) ボランティア入門講座

住民生活におけるニーズは、家事援助、見守り、子育て支援、地域の足の確保、地域の交流など幅広く存在します。今後、高齢化や家族形態・地域社会の変容によりくらしを支える機能が低下し、新たな公共私協力関係により、くらしを維持する必要性が高まっています。

今後、住民ニーズを満たす共助によるサービス提供体制を構築するために、あらゆる世代が、ボランティアとして、多様な実践に取り組むことが期待されています。今回は、ボランティアの基礎を知り、興味をもって参加してもらうことを目的として開催しました。

開催年月日	参加者	内 容
R7. 3. 7	6 名	「ボランティア入門講座」 ボランティアの基礎について学びました。 担当：柴田町社会福祉協議会 八島 裕晃 協力：福祉防災サポーター 鈴木 秀子 氏 ふれあい協力会員 角田 とき子 氏

ロ) 柴田町災害ボランティア養成講座

災害等による有事の際に備えた人づくりや、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるように、平時からの防災・減災のための住民意識の向上と災害時のボランティア育成を目的として開催した。

開催年月日	参加者	内 容
R6. 12. 6	10 名	「災害ボランティアの基礎を学ぼう！」 講師：一般社団法人 BIGUP 石巻 代表理事 阿部 由紀 氏

⑤ ボランティア保険の加入状況

住民のボランティア活動が安全・安心に活動できるように、活動中の傷害保険・賠償保険制度について、加入を周知し手続き事務を行った。

ボランティア保険（行事保険含む）加入状況（令和7年3月31日現在）

年間手続き件数	243件	年間加入人数	11,908名
---------	------	--------	---------

※天災（個人2名）・柴田町災害ボランティアセンター登録（5名）

（２）福祉教育推進

子どものころから福祉への理解を深めるため、社協では学校からの依頼を受け、指導内容や狙い等を担当教諭と打ち合わせを密にし、福祉体験の指導を行った。また、継続して防災学習を行うことにより災害への意識を高めてもらえるように働きかけた。

① 防災福祉体験学習への協力(出前講座)（実施回数：30回 延べ1,317人）

No.	開催月日	依頼者	参加者	内 容
1	6月5日	東船岡小学校4学年	32	車椅子・白杖体験
2	6月24日	船迫小学校4学年	49	過去の災害を振り返って
3	7月4日	柴田小学校第4学年	7	車椅子・白杖体験・点字等
4	9月17日	西住小学校第1学年	18	防災紙芝居
5	9月17日	西住小学校第2学年	27	防災3択クイズ
6	9月17日	西住小学校第3学年	22	防災KYT
7	9月17日	西住小学校第4学年	16	防災ビンゴ
8	9月17日	西住小学校第5学年	17	災害に備える(段ボールベッド等)
9	9月17日	西住小学校第6学年	17	クロスロード
10	10月2日	船迫小学校3学年	61	福祉について考える

11	10月9日	船迫小学校 3 学年	61	認知症の生活理解
12	10月17日	船迫小学校 3 学年	61	聴覚障害者の生活理解（手話）
13	10月22日	船迫小学校 3 学年	61	肢体不自由者の生活理解
14	10月29日	船迫小学校 3 学年	61	車椅子体験
15	11月6日	船迫小学校 3 学年	61	白杖体験
16	11月14日	船迫小学校 3 学年	61	ニュースポーツ体験
17	11月13日	西住小学校 4 学年	16	車椅子、白杖体験
18	11月15日	船迫中学校 1 学年	59	クロスロード
19	11月15日	船迫中学校 2 学年	55	バーチャルマップ体験
20	11月19日	船迫中学校 3 学年	78	避難所運営ゲーム
21	11月18日	西住小学校 2 学年	26	ニュースポーツ体験
22	11月22日	槻木小学校 3 学年	73	福祉について考える
23	12月4日	槻木中学校 1 学年	74	被災時のグッズ活用
24	12月5日	槻木中学校 2 学年	85	DIG
25	12月6日	槻木中学校 3 学年	85	HUG
26	12月18日	船岡小学校 6 学年	76	過去の災害を振り返って
27	12月19日	船岡小学校 4 学年	86	車椅子、白杖、手話体験
28	1月21日	柴田小学校第 5 学年	8	避難所づくり、サバメシづくり
29	1月23日	槻木小学校 4 学年	76	車椅子体験
30	1月30日	槻木小学校 3 学年	76	白杖体験
31	2月4日	槻木小学校 4 学年	76	手話体験
32	2月6日	槻木小学校 4 学年	76	点字体験

②夏・ボランティア体験学習（小学1年～6年対象）

協力：福祉・防災学習サポーター

小校生を対象に、福祉について理解を深め、「思いやりの心」を育て、ボランティア活動・防災学習を通して、地域や学校におけるボランティア活動の育成と促進を図ることを目的として開催した。

開催日	参加者	体 験 内 容(対象学年)
8月5日	28名	1) 災害時に役立つグッズについて考えよう
8月7日	20名	2) 目の見えない人の体験をしてみよう
		協力：福祉防災学習サポーター

8. 共同募金配分事業

地域福祉の推進という共通の目標の下、共同募金会と社協がより密接な連携を図り、その広報・啓発を積極的に協力した。

(1) 歳末たすけあい募金配分事業

「歳末たすけあい運動」は、共同募金運動の一環として地域住民やボランティア、民生委員・児童委員、社会福祉協議会等の関係機関・団体の協力のもと、支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らすことができるよう、在宅対象世帯を配分対象世帯への募金配分と各地域における災害時に備え、福祉的な支援活動に対する事業配分を歳末たすけあい募金配分委員会の審議を経て配分された。

令和6年度 歳末たすけあい募金配分実績

区分	配分対象	算定基準	配分額
在宅対象世帯	子育て中で生活支援を必要とする世帯	13,000 円× 17 世帯	221,000
	母子世帯・父子世帯		
	両親のいない児童・生徒養育世帯、 交通・労災遺児養育世帯	13,000 円× 63 世帯	819,000
	重度心身障害児者同居世帯	13,000 円× 26 世帯	338,000
	65 才以上の独り暮らし高齢者（世帯）	13,000 円× 88 世帯	1,144,000
	65 才以上の寝たきり高齢者同居世帯	13,000 円× 0 世帯	0
	65 才以上の高齢者で構成する世帯	13,000 円× 5 世帯	65,000
	その他援護を必要とする世帯	13,000 円× 5 世帯	65,000
小計		13,000 円× 204 世帯	2,652,000
地域住民が参加できる福祉活動の展開に対する支援（「いこいの日」促進事業、地域世代間交流事業、フードバンク事業支援）			410,000
地域福祉の参加の促進に対する支援（次世代育成事業）			113,080
善意銀行への預託（災害見舞金の贈呈、生活支援金）			396,910
歳末たすけあい運動推進費（事務局諸経費）			250,000
合 計			3,821,990

9. 資金貸付事業

低所得世帯に対し、適正な資金の貸付と必要な相談支援を行うことにより借受世帯の自立更生を促進した。

(1) 生活安定資金の貸付

目的：柴田町に居住する低所得者に対し、小口の生活資金の貸付と必要な援助、指導を行なうことにより自立更生と生活安定に寄与することを目的とする。

○貸付相談件数（2件）

○貸付決定/償還件数(0件)

(2) 生活保護つなぎ資金の貸付

目的：生活保護法による保護の申請を行い、保護が適用されるまでの間、手持ち金がなく、生活に支障をきたす恐れのある方に対して、生活保護つなぎ資金の貸付を行い、自立更生と生活安定を図ることを目的とする。

○貸付相談件数（4件）

○貸付決定/償還件数(4/4件)

10. 福祉団体支援事業

福祉関係団体に対する住民参加の促進と民間社会福祉事業の振興と発達を図るため支援活動として助成を行った。

○助成団体

団体名称	加入人数（人）
柴田町ボランティア・NPO活動連絡会	団体 24 団体、個人 24 名、賛助 21 名
柴田町子ども会育成会連絡協議会	町内 6 小学校区子ども会育成会
柴田町ジュニアリーダーサークル「かぐや姫」	会員数 9
柴田町身体障害者福祉協会	会員数 25
精神障害者家族会「桜会」	会員数 17
柴田町遺族会	会員数 133
柴田町更生保護女性会	会員数 30
柴田町民生委員児童委員協議会	民生委員児童委員 80 人、主任児童委員 3 人
柴田町老人クラブ連合会	会員数 272
柴田町婦人防火クラブ連合会	団体数 35
さくら食堂	(9B区)
土手内食堂	(9A区)
しんえいをもっと元気にする会	(11C区)
子ども食堂みんなのテーブル	(29B区)
合計 14 団体	

※団体業務については、13. 福祉団体等事務局業務を参照。

11. 基金運営事業

社協事業を円滑に運営するために、各種基金を設け、資金を計画的且つ適正に運用管理した。

(1) 基金等の管理運営

○「福祉振興基金」

目 的：地域福祉活動と本会運営の安定化を図るため設置。

基金額：10,000千円

○「災害対策基金」

目 的：大規模災害が発生した際に、本会において立ち上げる災害ボランティアセンターの円滑な運営を図るため設置。

基金額：5,000千円

○「車両整備基金」

目 的：将来の社会福祉事業に使用する車両の更新に備えるため設置。

基金額：8,000千円

○「新規事業対策基金」

目 的：新規事業を実施する際の運営資金に充てるため設置。

基金額：3,000千円

(2) 善意銀行の運営

善意銀行は、寄付金や寄付物品を効果的に社会生活の相互扶助に活用し、地域社会の福祉の増進に寄与することを目的に設置。

善意銀行運営状況

① 金銭受入明細

No.	月 日	受 入 先	金 額 (円)
1	R 6. 8.10	通帳利息	213
2	R 7. 2.15	通帳利息	1,323
3	R 7. 2.28	歳末たすけあい配分金	396,910
合 計			398,446

② 金銭払出明細

No.	月 日	払 出 先	金 額 (円)
1	R 6. 5.10	生活支援金 (1 件)	7,000
2	R 6. 7.19	フードバンク食糧購入	15,000
3	R 6. 7.26	火災見舞金 (全焼 1 件)	20,000
4	R 6. 7.30	フードバンク食糧購入	51,056
5	R 6. 9. 3	生活支援金 (1 件)	5,000
合 計			98,056

③ 物品寄付明細

NO	月 日	寄附者名	物品名
1	R6. 4. 30	佐藤 順子 様	絵本等 11 冊、紙芝居 16 冊 (社協事業で使用)

2	R6. 7. 12	柴田町ゲートボール協会 様	かんたんテント 1、簡易テント 1 (社協事業で使用)
3	R6. 8. 5	豊屋食品工業 (株) 様	福神漬け 2、南蛮みそ漬け 1 2、青唐辛子みそ 4 ゆず唐辛子みそ 3、いぶり味たくあん 3 中国産南蛮みそ漬け 3、からみ漬け 5、長茄子漬 1 (フードバンクで使用)
4	R6. 10. 16	阿部 八千代 様	カボチャ 3 0 (フードバンクで使用)
5	R6. 10. 16	リコーインダストリー(株)東北 事業所 様	飲料水 5 箱、野菜ジュース 7 箱、アルファ米 7 箱 (フードバンクで使用)
6	R6. 11. 18	豊屋食品工業 (株) 様	からみ漬け 1 2、いぶり味たくあん 3 仙台長茄子漬 2 0、青唐辛子みそ 8 業務用福神漬け 2 (フードバンク、子ども食堂で使用)
7	R1. 23	豊屋食品工業 (株) 様	長茄子漬 2、いぶり味たくあん 2 青唐辛子みそ 1、南蛮みそ漬け 9、浅漬け 2 キロ (フードバンク、子ども食堂で使用)
8	R7. 2. 20	T-Farm 高橋 亮 様	玄米 1 8 0 キロ (フードバンクで使用)
9	R7. 2. 21	豊屋食品工業 (株) 様	青唐辛子みそ 1 2、長茄子漬 2 0、福神漬け 2 南蛮みそ漬け 6 (フードバンク、子ども食堂で使 用)
1 0	R7. 2. 28	大和電設工業 (株) 仙南技術セ ンタ 様	ビスコ 1 箱、甘辛豚肉 4 9 パック (フードバンクで使用)

12. 受託事業

県社協、町からの事業の委託を受け、社会福祉協議会の受託事業として利用者本位の質の高いサービス提供が行われるよう体制づくりを進め事業を実施した。

(1) 生活福祉資金貸付制度(県社協からの事務委託)

生活の安定と経済的自立を図ることを目的として、低所得世帯・高齢者世帯・障害者世帯に対し、資金貸付の相談と各種支援制度の情報提供、関係機関へのつなぎを行った。

また、生活福祉資金(コロナ特例貸付等)借受人に対して丁寧な相談支援が実施できるよう、令和5年度から債権管理事務を行う事務員を配置し、県自立相談支援センター、町関係機関との連携体制の構築に努めた。

【資金貸付の相談及び申請内容】

単位：件

資金の種類			相談	申請
総合支援 資金	生活支援費	生活再建までの間に必要な生活費用	11	0
	住宅入居費	敷金、礼金等住宅の賃貸契約を結ぶために必要な経費	0	0
	一時生活再建費	生活を再建するために一時的に必要なかつ日常生活費で賄うことが困難である費用	0	0
福祉資金	福祉費	技能習得、福祉用具、障害者用自動車、住居の移転、医療費等日常生活上一時的に必要な経費	7	0
	緊急小口資金	医療費、盗難、被災等で緊急かつ一時的に生計維持	13	0

		が困難となった場合に貸し付ける少額の費用		
教育支援資金	教育支援費	低所得世帯で高等学校、大学、短大、高等専門学校、専修学校に就学するのに必要な経費	0	0
	就学支度費	上記学校等への入学に際し必要な経費	0	0
不動産担保型生活資金	不動産担保型生活費	低所得の高齢者世帯に対し、一定の居住用不動産を担保として生活資金を貸し付ける資金	1	0
	要保護世帯向け不動産担保生活費	要保護の高齢者世帯に対し、一定の居住用不動産を担保として生活資金を貸し付ける資金	1	0
計			33	0

【コロナ特例貸付 償還免除・納付猶予状況】

(R7.3月末現在)

貸付種別	貸付実績 (件)	償還免除		納付猶予	
		件数	割合	件数	割合
緊急小口資金	264 件	121 件	46%	18 件	7%
総合支援資金（初回）	158 件	88 件	56%	14 件	9%
総合支援資金（延長）	34 件	17 件	50%	1 件	3%
総合支援資金（再貸付）	48 件	18 件	38%	0 件	0%
計	504 件	244 件	48%	33 件	7%

（２）日常生活自立支援事業（まもりーぶ事業）

宮城県社会福祉協議会からの一部委託事業として、認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等のうち判断能力が不十分な方が、地域において自立した生活が送れるよう在宅生活を支援する事業として、利用者との契約に基づき、福祉サービスの支払いをはじめとした日常的な金銭管理や、通帳など重要書類を預かり、利用者が安心して自立した生活が送れるようにすることを目的とし、生活支援員６名を配置し福祉サービスを実施した。

相談受付状況

対象者別	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	合計
相談受付数（件）	0	0	0	0	0
年度末利用者数（人）	0	4	8	0	12

（３）柴田町自立者支援通所事業「春風」

介護認定を受けていない在宅の高齢者に対し、心身機能の維持・向上及び積極的な社会参加と生活の活性化を図るため、身近に利用できる自立支援事業として、柴田町地域福祉センターで開催。

○ 主なサービス内容

- ・バイタルチェック・今日の話題・送迎・外注による食事の提供
- ・趣味・創作活動

(春に親しむ・花見・牡丹まつり見学) / フラワーアレンジメント / コースター作り / カレンダー作り / レジン箸置き / 正月飾り / 造花フラワーアレンジ / 綿棒アート / 寄せ植え / 季節の飾り物

- ・教養講座

(健康講話／社協職員講話／ 人権擁護講話

・機能訓練

(あたまの体操(音読、計算、間違い探し、クロスワード・迷路)

・レクリエーション

(知的、体を動かすレクリエーション、リズム体操)

柴田町自立者支援通所事業年間利用状況 (R7. 3. 31現在)

登録人数	開催日数	延べ利用者数	1日平均
68人	212日	1,464人	約7人

(4) 槻木ケアステーション運営事業

高齢者世話付住宅(シルバーハウジング)生活援助員派遣事業及び、身体障害者自立支援事業を町から受託し、県営柴田槻木住宅内に生活支援の拠点として整備した「槻木ケアステーション」において、対象入居者への生活支援及び、必要に応じた一定の介助を行ない、地域社会の中で自立して安全かつ、快適な日常生活を営むことができるように支援を行った。

入居対象個数及び入居状況

高齢者世話付住宅		身体障害者ケア付住宅	
入居対象者数	入居世帯	入居対象戸数	入居世帯
10戸	5戸	5戸	1戸

① 生活援助員(L.S.A)活動状況

生活援助員は、高齢者の世話付住宅(シルバーハウジング)入居者を支援するため生活指導相談、安否の確認、一時的な家事援助の提供、緊急時の対応等関係機関との連携を図った。
(生活援助員1名)

② ケア付住宅入居者介助状況

ケアステーションに介助員を配置し、ケア付入居者に対して必要とする食事、入浴、排泄、衣類着脱、洗濯、清掃、買物等の介助、生活及び、自立に関する相談、助言等のサービスを行った。(介助員2名体制)

(5) 柴田町高齢者サークル活動支援事業

柴田在住のおおむね70歳以上を対象に仲間づくりや生きがいを促進するとともに社会参加を図ることに努めた。

令和6年度は、2サークルの支援であった。

	サークル名	登録人数	実施場所
1	カラオケ	17人	農村環境改善センター
2	書道	15人	船迫公民館

(6) 柴田町地域包括支援センター事業

柴田町地域包括支援センターは、船岡・船迫地区を担当エリアとし、地域の高齢者が、住み慣れた地域で、その人らしい尊厳ある暮らしを継続できるよう、ニーズや状態の変化に応じて、必

要な支援や見守りが切れ間なく提供される体制づくり（多職種多機関による連携支援と地域支援・認知症施策の推進）を行いました。

主任介護支援専門員、社会福祉士、保健師（看護師）の専門職が配置され、それぞれの特性を活かし、連携する事で（１）介護予防ケアマネジメント（２）総合相談支援（３）権利擁護（４）包括的・継続的ケアマネジメント支援の４つの基本業務を担当すると共に、地域の実情に応じた任意事業に取り組み、下記の通り実施しました。

１．包括的支援事業

（１）新規相談者 ３２７件、継続相談・再来相談者 １６６２名

（２）相談件数合計 ５７３３件

- ・総合相談 相談延べ件数 ５４２９件
- ・権利擁護・高齢者虐待等 相談延べ件数 ５３件
- ・包括的継続的ケアマネジメント支援事業 ケアマネジャー支援延べ件数 ２５１件

（３）事業(会議)実績

- ・ネットワーク代表者会議 （３回） ３８名
- ・ネットワーク全体会議 （４回） ２０５名
- ・地域ケア推進会議 （１回） １３名
- ・地域ケア個別会議 （３回） １１３名
- ・自主研究部会（６団体）支援（活動支援・研修実施支援）
- ・ケアマネジャー情報交換会 （４回） １５４名
- ・主任ケアマネジャー連絡会 （５回） ３０名
- ・福祉課地域包括連絡会 （１２回）
- ・認知症地域支援推進員連絡会（１０回） ７６名
- ・チームオレンジ井戸端会議 （６回） １３２名
- ・権利擁護関係
 - ①虐待対応 （４件）
 - ②成年後見制度 町長申立て（０件）新規相談支援（２件）継続相談支援（０件）
 - ③処遇困難ケース検討会議随時開催（１３回）
- ・サービスガイド作成・配布 ４５０部

２．介護予防給付・介護予防ケアマネジメント

- ・事業対象者・要支援１・２認定者の給付管理数 ２６２５件

３．介護予防事業

（１）一般高齢者地域介護予防支援事業

- ・ダンベルサークル連絡会（３回） １３４名
- ・玄米ダンベル体験会 ３回コース （２９名）
- ・玄米ダンベルサークルフォローアップ研修 （３会場） １１１名
- ・ノルディックウォーキングサークル連絡会 （３回） ２０名

- ・ランチを楽しむ会（８グループ中７グループが開催）（８２回）６２０名
- ・ランチを楽しむ会世話人会開催（３回）３５名

（２）普及啓発事業

- ・出前講座（２８回）８８８名

４．任意事業 介護家族支援事業

- ・介護家族の会「よつば会」
役員会（５回）２３名、総会（１回）１３名、研修会・交流会（２回）４５名
- ・ふたば会支援（毎月第２火曜日）（１２回）７７名
- ・しゃべり場（毎月第１水曜日開催）（１２回）５６名
- ・駅前しゃべり場（毎月第３木曜日開催）（９回）４７名
- ・ネットワーク情報(権利擁護普及啓発チラシ) 年５回作成・配布
- ・職員ミーティングの開催 年４回
- ・実習生受入れ１７名(社会福祉士養成３名、中学校職場体験７名、
中学校キャリアセミナー６名、地域医療医師実習１名)

（７）柴田町社会福祉協議会訪問調査センター事業【町委託事業】

高齢者の介護を社会全体で支える制度として設けられた、介護保険制度のサービスを受けるために、町及び他市町村からの認定調査事務の委託を受けて、要介護認定等の申請を行った被保険者の心身の状況等について、定められた認定調査を行った。また、障害程度区分認定調査も行った。

１．柴田町要介護認定等調査実績（令和６年４月～令和７年３月）

調査区分	新規	更新	区変	介護	再調査	合計
件数(件)	４７０	６６５	１５０	１２９	１０	１,４２４

２．他市町村から受託した介護認定等調査実績（令和６年４月～令和７年３月）１件

３．柴田町障害認定区分調査実績（令和６年４月～令和７年３月）６７件

（８）柴田町生活支援体制整備事業(生活支援コーディネーター配置)【町委託事業】

町の受託事業として、地域包括ケアシステムの構築における高齢者の生活支援体制整備に向けて、その業務を担う生活支援コーディネーターを当協議会に配置（第１層１名、第２層２名）し、地域づくりに向けて下記の取り組みを実施した。

１．地域支え合い活動促進

- ・「しばた・来らいんマップ」情報の更新、ニーズの把握のためマップ掲載団体等を訪問
- ・みやぎ生活協同組合「移動販売車」・(株)イトーチェーン本部「お買い物バス」の周知
新規誘致の要望、停留所変更、廃止等を運行业者や住民と協議。
運行状況把握のため取材（みやぎ生協移動販売、入間田地区１か所中止）

２．収集した情報の発信、住民への啓発

- ・「生活支援コーディネーター通信 みんなの広場」第７号発行（Ｒ７．３月全戸配布）
- ・生活支援コーディネーターPRチラシ裏面に「SCかわら版」作成（６月・９月・１２月・３月）
- ・「みんなの美術館」（４月から３月開催）
地域づくりや介護予防活動、地域資源(地域のお宝)発掘、情報発信を目的に開催

3. 地域分析の実施

- ・ 社協事業で実施した「第4次地域福祉活動推進計画」への参画（3地区共生会議ワークショップ）
- ・ 自主活動団体について「自主活動サークル・団体紹介」として「しばた・来らいんマップ」を各小学校区にデータ化し、冊子を追加印刷、配布
- ・ 地域支え合いデビュー講座3「終活 de フリマを楽しむ講座」開催
- ・ 地域食堂・子ども食堂・子どもの居場所等行政区等支援

4. 生活支援・介護予防体制整備協議体への参加

- ・ 9月（第1回）「地域課題・団体課題等の情報共有」
- 12月（第2回）「移動手段の手法の協議」

5. 研修会等への参加

- ・ 外部研修（3回）内部研修（15回）県国研修（4回）
- ・ 令和6年度宮城県生活支援コーディネーター養成研修（5回）
- ・ 関係機関との会議
福祉課（地域ケア個別会議・認知症地域支援員推進連絡会）
子ども家庭課（子ども子育て会議・子育て自主サークル代表者会議）
まちづくり政策課（住民自治まちづくり条例審議会・提案制度審査会）
社協（ふれあいネットワーク互助事業運営委員会）

6. 生活支援コーディネーター連絡協議会（5者連絡会）

- ・ 高齢者の生活体制整備に向けて、福祉課・柴田町地域包括支援センター・槻木地域包括支援センター・柴田町社会福祉協議会と情報共有し、今後の具体的な展開や方策等について定期的に検討（年12回）

13. 指定管理事業

町からの事業の指定を受け、指定事業として業務及び高いサービス提供が行われるよう体制づくりを進め事業を実施した。

（1）地域福祉センター指定管理事業

地域福祉センターは、平成21年度から指定管理者の指定を受け、運営管理業務を行っています。センター内には、社協事務所・ボランティアセンター、地域包括支援センター、生活支援コーディネーター室、訪問調査センター、自立者支援通所事業「春風」が事務所を構え、地域住民の生活を支える福祉の総合的な拠点としての役割を果たしている。また、研修室を完備し、社協事業・福祉団体・役場主催の行事等に有効的に活用されている。（令和6年度～令和10年度：指定管理者）

○主な運営業務内容

1. 福祉センターの施設及び付属設備の維持管理並びに修繕に関すること
□施設害虫駆除、除草・草刈、ゴミ清掃、施設内外修繕
2. 福祉センター入居に係る各種経費の精算に関すること
□電気・灯油代の請求書の作成

3. 福祉センターの利用申請に関すること

□研修室等の利用申請業務(町の事業、社協事業、ボランティア団体等)

4. その他、町が福祉センターの運営に必要と認めた事項に関すること

○令和6年度施設利用実績(5年度実績)

研修室			小会議室			相談室			ホール		
回数	時間	人数	回数	時間	人数	回数	時間	人数	回数	時間	人数
75 (66)	163 (138)	2,730 (2,074)	185 (156)	368 (315)	1,551 (1,144)	166 (169)	366 (349)	523 (402)	148 (125)	332 (257)	2,944 (2,251)
						旧まごころホーム			施設利用合計		
						回数	時間	人数	回数	時間	人数
						125 (158)	291 (330)	5,015 (5,075)	699 (674)	1,520 (1,388)	12,764 (10,946)

(2) 柴田町地域活動支援センターもみのき・柴田町地域活動支援センターしらさぎ指定管理事業

障がい者及び障がい児が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、利用者を通わせ、創作的活動や生産活動の機会の提供、社会交流の促進などを図り総合的に支援することを目的としている。

◎柴田町地域活動支援センターもみのき利用登録者数(9人)

○主な事業内容

1. 創作的活動・交流活動

□ラジオ体操、フラワーアレンジ、農耕作業

2. 生産活動・交流活動

□菓匠三全、ネクストの下請け作業

3. 年間行事

□お花見、

4. 交流活動(生産活動の協力及び創作的活動の協力団体等)

□柴田町ボランティア・NPO活動連絡会、町内登録ボランティア

□花匠園

◎柴田町地域活動支援センターしらさぎ利用登録者数(39人)

○主な事業内容

1. 創作的活動

□団子処しらさぎ店舗装飾づくり・合同俳句会

2. 生産活動・交流活動

□松和産業・東和製作所の下請け作業、販売手芸品等の作成、つつみ屋フランチャイズ

店舗販売・めいらくソフト販売・紙資源回収作業

3. 年間行事

- 柴田町社会福祉協議会「福祉まつり」参加・関係機関とのケア会議
定例会【利用者さんの意見交換会】【各毎月1回開催】
体力づくり（ラジオ体操実施）
- 4. 地域交流活動（町内のイベント等への参加）
 - 地域福祉センター等での団子等の出張販売
（柴田町民生児童委員協議会定例会・各研修会・各団体総会等）
 - 資源回収、福祉まつり参加

14. 福祉団体等事務局業務

町内の福祉団体が自発的に、自立して自らの団体の目指す活動ができるように、必要な相談支援を行った。また、団体運営が円滑に推進できるように団体事務及び連絡調整を図り、福祉団体の育成強化に努めた。

（1）柴田町民生委員児童委員協議会（民生委員児童委員74人、主任児童委員3人）

目 的： 民生委員児童委員の相互の研鑽と資質の向上に努めるとともに、職務に関する連絡提携を行なう。併せて町、保健福祉事務所、その他関係機関との緊密な連携を保ち、もって社会福祉の増進に努めることを目的とする。

～ 業務内容 ～

- 1) 柴田町民生委員児童委員協議会の会計事務
- 2) 宮城県、宮城県民生委員児童委員協議会関係の報告等事務
- 3) 定例会（12回）の開催準備（会議、研修会含む）
- 4) 企画部会（13回）の開催準備（民児協事業の企画立案）
- 5) 生活、高齢者、児童福祉部会の活動支援（役員会、研修会含む）
- 6) 民生委員・児童委員の日 活動強化週間 PR活動準備
- 7) にこにこ親子応援隊（ブックスタート）
- 8) 民協互助会
 - ・見舞金、退任慰労金等の申請事務、会計事務
- 9) 表彰者申請

（2）柴田町ボランティア・NPO活動連絡会（団体数23団体）（個人23人）（賛助21人）

目 的： ボランティアの連絡調整と情報交流を図り、積極的なボランティア活動を推進することを目的とする。

～ 業務の内容 ～

- 柴田町ボランティア・NPO活動連絡会
- ・柴田町ボランティア・NPO活動連絡会 経理事務

- ・年会費の取りまとめ
- ・総会（案内文書送付・参加者取りまとめ・総会資料作成）
- ・柴田町ボランティア・NPO活動連絡会研修会 開催
- ・役員会 年3回 開催

○仙南地方ボランティア連絡協議会

- ・役員・事務担当者会議 年2回※リモート1回、対面1回実施
- ・総会（案内文章送付・参加者取りまとめ・総会資料作成）
- ・仙南地方ボランティア研修会 開催（柴田町会場実施）
- ・令和6年度事務局（柴田町）

（３）柴田町身体障害者福祉協会（会員数23人）

目 的： 柴田町内に在住する身体障害者の福祉増進に必要な事業を行うと共に会員相互の親睦を図ることを目的とする。

～ 業務の内容 ～

○柴田町身体障害者福祉協会

- ・柴田町身体障害者福祉協会 経理事務
- ・年会費の取りまとめ
- ・総会 開催（案内文書送付・参加者取りまとめ・総会資料作成）
- ・役員・代議員合同会議 年2回 開催
- ・ランチ会 開催

○仙南地方連絡協議会

- ・定期総会
- ・仙南地方連絡協議会 体育大会

（４）柴田町遺族会（会員数132人）

目 的： 戦死戦病者遺家族の福祉向上、英霊の顕彰及び遺家族の親睦を図ることを目的とする。

～ 業務の主な内容 ～

○柴田町遺族会

- ・柴田町遺族会 事務
- ・総会 開催（案内文書送付・参加者取りまとめ・総会資料作成）
- ・役員会 年1回 開催

○県遺族会

- ・戦没者慰霊 8月

(5) 福祉劇団「鶴亀」(会員数8人)

目 的： “目で見てわかる福祉”をチャッチフレーズに福祉劇を上演し、様々な福祉サービスをみんなに知ってもらうための公演活動を行っている。

～ 業務の主な内容 ～

- ・福祉劇団「鶴亀」 経理事務
- ・毎月定例会開催
- ・公演依頼の対応・日程調整

(6) 柴田町老人クラブ連合会(会員数272人)

目 的： 老人クラブの育成を図ると共に広く老人福祉の推進に寄与することを目指す。

～ 業務の内容 ～

○柴田町老人クラブ連合会

- ・柴田町老人クラブ連合会 経理事務
- ・年会費の取りまとめ
- ・総会開催（案内文書送付・参加者取りまとめ・総会資料作成）
- ・役員会、委員会の開催
- ・部会の開催（必要に応じて開催）
- ・グラウンドゴルフ大会開催
- ・ボッチャ大会開催
- ・柴田町社会福祉協議会みんなの美術館へ出品
- ・女性部講演会開催
- ・創立60周年記念式典開催
- ・女性部移動研修会開催
- ・移動研修会開催
- ・町補助金関係 申請・報告書提出

○県老人クラブ連合会

- ・宮城県シニアスポーツ大会 出場
- ・宮城県老人クラブ大会へ参加

(7) 柴田町共同募金委員会(理事11名・監事3名・評議員23名)

目 的： 共同募金運動の目的達成のために、社会福祉法人宮城県共同募金会の定める諸計画を実施するとともに、柴田町の福祉の増進することを目的とする。

～ 業務の内容 ～

(1) 柴田町における募金活動の実施

- 行政、企業、職域等へ依頼文発送
- 町内協力店に募金箱設置

- (2) 柴田町における広報活動の実施
- (3) 赤い羽根共同募金運動推進会議開催
会議資料、資材準備
- (4) 歳末たすけあい運動推進会議開催
会議資料、資材準備
- (5) 町内施設、放課後児童クラブ等へのクリスマスケーキ配分
- (6) 歳末たすけあい配分委員会第1次・第2次
- (7) 歳末たすけあい配分事業第1次申請書作成 県共募へ提出
歳末たすけあい配分事業第2次申請書作成 県共募へ提出
歳末たすけあい配分事業完了報告書類作成 県共募へ提出
- (8) 柴田町における社会福祉協議会及び受配者との連絡
- (9) その他、共同募金運動の目的達成のために必要な事業
- (10) 共同募金配分金（事業）周知・申請受付
- (11) 小規模災害見舞金の申請事務
- (12) 宮城県共同募金会関係の報告等事務
- (13) 会計事務、会計システムの操作
- (14) はねっとシステム操作
- (15) 理事会・評議員会

◇令和5年度共同募金（令和6年度事業）

○事業配分（2件 250,000円）

団 体 名	配分金額（円）	事 業 名
柴田町社会福祉協議会	200,000	困難を抱える子どもや家族への支援 活動助成事業
土手内西町内会	50,000	生活課題解決事業

○地域福祉事業（町社会福祉協議会）

1,934,674円

○共同募金委員会 事務補助費 350,200円

（8）柴田町内福祉施設等連絡協議会（22施設加入）

目 的： 柴田町内の福祉施設等が相互の連絡調整を図ることにより、専門的機能・知識を活かし、もって地域福祉活動を推進することを目的とする。

社協と協働して福祉まつりの開催に向けて、福祉施設の展示・即売などに参加し、住民の方々と交流を図る。

※コロナ禍にて活動休止